

“王寺っ子の夢と希望をかなえる学校”

令和2年1月 王寺町教育委員会

【仮称】王寺義務教育学校（南）大規模改造基本設計 概要版

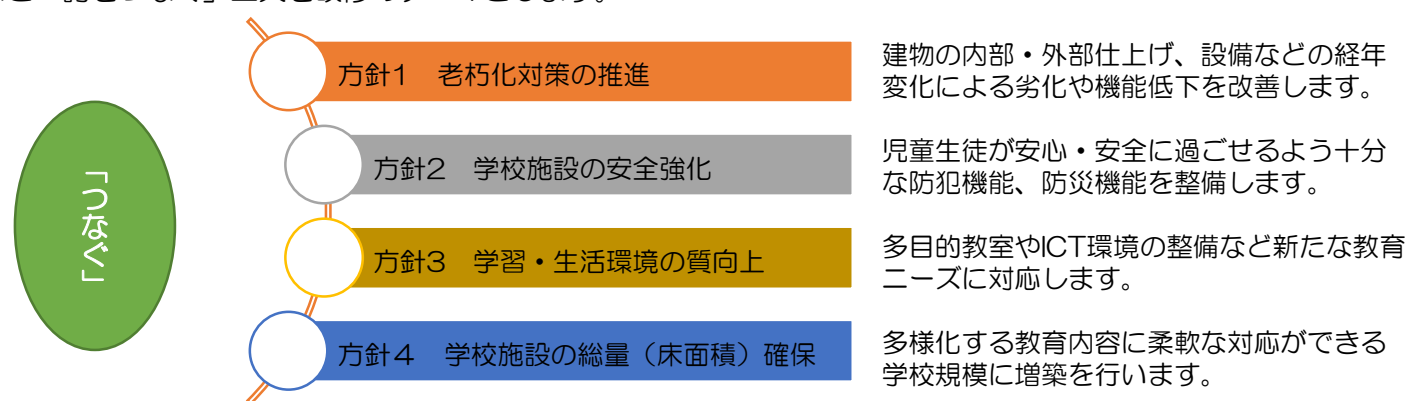
1 大規模改造基本設計について

平成30年12月に作成した「【仮称】王寺義務教育学校（南）建設に伴う土地利用調査報告」では、王寺南小学校及び王寺南中学校は、築年数が浅く長寿命化改修の適期に達していないことから、令和4年4月に施設分離型での義務教育学校をスタートさせるにあたって、大規模改造を実施すると判断しました。開校に向け、学習環境の改善、学年配置（王寺南小学校4学年、王寺南中学校5学年）や児童生徒数の推移等を踏まえた教室の用途替えや入替えを含む改修を行います。9年間一貫した教育活動に適した学校施設として、子どもたちの安心・安全かつ良好な教育環境の確保、機能面の改善を図る改修計画の工夫と増築の検討を行い、現校舎を最大限利用しながら、可能な限り教育環境の改善を図るために基本設計を行いました。本基本設計は、王寺南小学校及び王寺南中学校の課題と現況を踏まえて、今後、詳細な実施設計を実施するための改修内容を整理したものです。

2 大規模改造基本設計のコンセプト

一般的に学校施設に求められる改修項目を基本に、学校要望、劣化度、適法対応の3項目を整理することで、学校づくりの基本理念は、「王寺っ子の夢と希望をかなえる学校」とし、4つの改修方針に基づき、【仮称】王寺義務教育学校（南）の改修を計画し、大規模改造基本設計のコンセプトを「つなぐ」とします。

学校の児童生徒、教職員や地域住民等の「心をつなぐ」、施設分離型の校舎の「学びをつなぐ」、学校の歴史など「誇をつなぐ」工夫を改修のテーマとします。



3 大規模改造基本設計の設定

■児童生徒数の推計

南校区範囲（畠田、明神、太子、南元町地区）の児童生徒数は、令和6、7年度に1,085人とピークをむかえ減少傾向となり、概ね1,000人規模で推移する見込みで、児童生徒数及び学級数のピークは以下のとおりです。

	王寺南小学校（1～4学年）	王寺南中学校（5～9学年）
年 度	令和4年度（ピーク時）	令和8年度（ピーク時）
児童生徒数	531人	661人
学 級 数	15学級	19学級

（平成30年4月1日現在の住民基本台帳登録人口及び平成28年3月策定の王寺町人口ビジョンによる。）

■計画学級数の想定

【仮称】王寺義務教育学校（南）の計画学級数は36学級（4クラス×9学年）と想定しています。

王寺南小学校 4学年（1～4年）16学級	王寺南中学校 5学年（5～9年）20学級
-------------------------	-------------------------

4 増築について

王寺南小学校にはエレベーターを、王寺南中学校には校舎・渡り廊下・エレベーターをそれぞれ以下の場所に増築します。

	王寺南小学校	王寺南中学校
所在地	奈良県北葛城郡王寺町太子2丁目1番30号	奈良県北葛城郡王寺町畠田9丁目1703番地
敷地面積	約21,000㎡	約32,000㎡
建築面積	約3,100㎡+約17㎡（EV棟）	約4,100㎡+約500㎡（増築棟、渡り廊下棟、EV棟）
延床面積	約5,800㎡+約50㎡（EV棟）	約6,700㎡+約1,100㎡（増築棟、渡り廊下棟、EV棟）
配置図		

5 具体的な改修内容について

■教室・廊下等のリニューアル

- 各学年ユニットは4-5の学年区分を考慮した普通教室の配置、連携を促す特別教室の配置とします。
- 教室や廊下の床、壁などの装いが新たになり、LED照明により明るい学校にします。
- 新たな学びを実践するためのICT環境整備やロッカーなど教室の学習環境の改善を図ります。

■メディアセンター、ランチルームの整備

- メディアセンターを図書室とPC教室機能を兼ね備えた複合学習センターとします。
- ランチルームは学年集会や学校開放時にも多目的に活用できるようにします。

■バリアフリーへの対応とセキュリティ対策

- バリアフリーへの配慮とユニバーサルデザインの採用により、様々な子どもたちの日常生活の利便性と安全性を高めます。
- 防犯対策として、監視カメラ設置などによる防犯機能を備えます。

■建物の外壁・防水等の更新

- 外壁塗装、屋上・屋根など建物外部のリフレッシュを図ります。

■避難所機能の拡充

- 屋内運動場棟を災害発生から復旧までの各段階に応じて最適な防災拠点機能を確保します。

■設備の更新

- 空調機器設備 GHP空調の設置（令和元年から先行整備）
- 給排水衛生設備 便所の改修（乾式化・洋式化）

受水槽の更新

- 電気設備 受変電設備の更新、照明器具の更新
放送設備や自動火災報知設備の更新
ICT環境構築

6 事業スケジュール

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
王寺南小学校						
王寺南中学校						

◇開校

7 改修後の平面図（王寺南小学校）

【整備方針】全般

- ・学年区分（1～4年）の校舎として整備を行います。
- ・各学年に多目的教室を計画し、余裕のある学習環境を目指します。
- ・エレベーター棟を配膳室の近い位置に増築することで給食配膳時の安全を確保し、メインのフロア（2階～4階）のバリアフリー化を図ります。
- ・3、4階に多目的便所を新たに設けることで児童生徒へのケアの充実を図ります。
- ・屋内運動場は便所、更衣室のリニューアルを行い、避難施設としての機能充実を図ります。

小中共通事項

便所

小学校・中学校ともに乾式化・洋式化により、清潔で明るい便所にします。



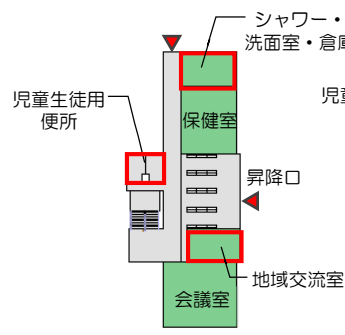
■便所改修後イメージ(他事例)

中庭

通称「プリン山」のモチーフを継承しながら、メディアセンターと一体的な利用が可能な中庭にします。

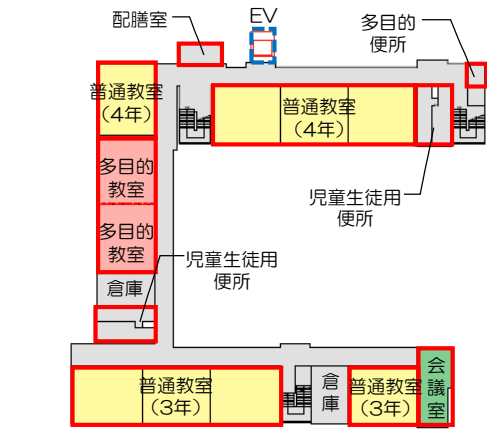


■中庭改修後イメージ

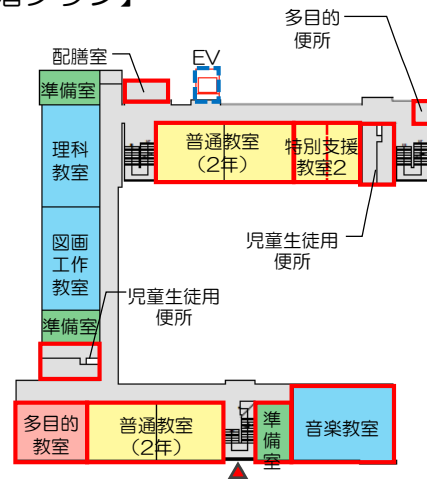


【1階プラン】

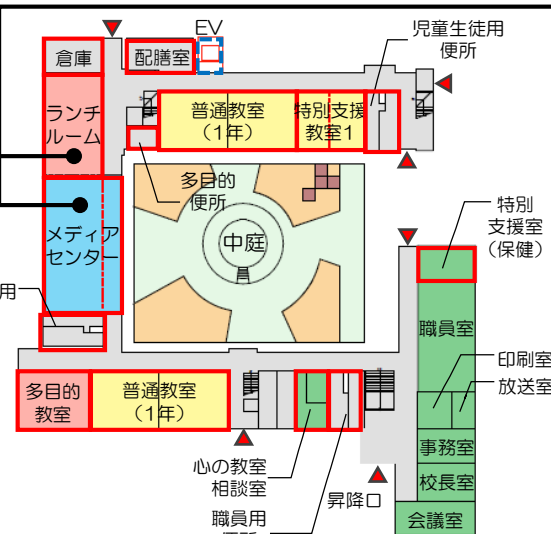
【2階プラン】



【4階プラン】



【3階プラン】



小中共通事項

普通教室

普通教室は、多目的教室とともに各学年の教育課程に応じ、各学年区分をベースに連携を考慮して各階に学年ユニットを構成し配置します。

■学年ユニットの構成



特別教室

特別教室は、普通教室からのアクセスや関連性の高い教科の教室を同一階に集約配置します。

特別支援教室

特別支援教室は、特別な支援を要する児童生徒数の増減や発達特性や発達段階に応じたきめ細かな支援ができるよう、可動式の間仕切りを設けます。

メディアセンター

王寺南小学校は現況の図書室をメディアセンターとして刷新し、王寺南中学校は増築校舎に新しくメディアセンターを設け、新しい義務教育学校の開校を象徴する場所として整備を行います。



■メディアセンターイメージ(他事例)

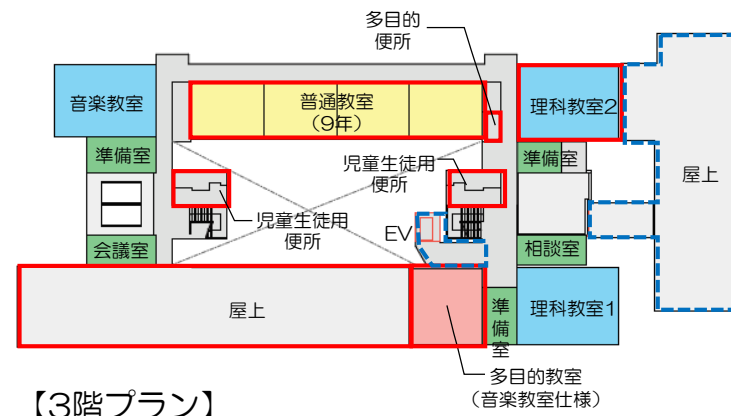
ランチルーム

王寺南小学校はメディアセンターに隣接する形でランチルームを設け、児童生徒が集い、交流が活性化する場所として計画します。王寺南中学校は給食施設棟の廃止に伴い、建物の一部をランチルームとすることで有効利用を図ります。

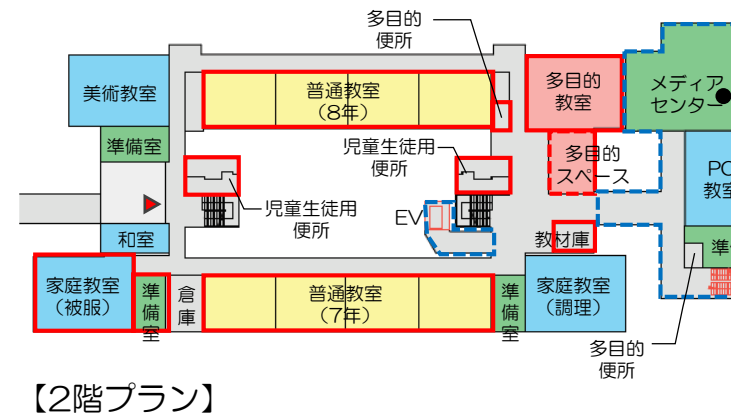
8 改修後の平面図（王寺南中学校）

【整備方針】全般

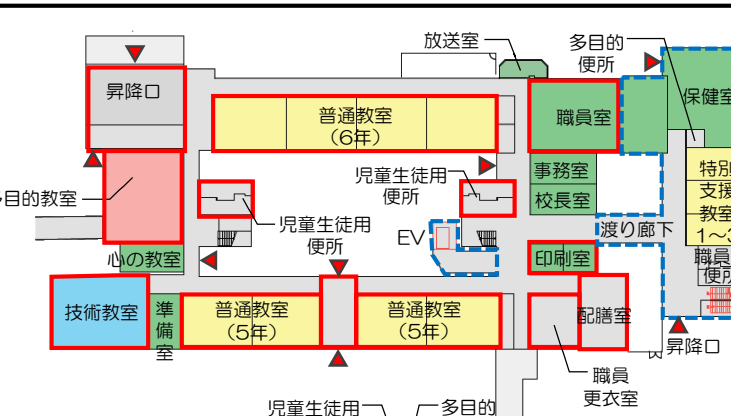
- ・学年区分（5～9年）の校舎として整備を行います。
- ・各階に多目的教室を計画し、余裕のある学習環境を目指します。
- ・校舎東側に増築を行い、1階は職員室機能の向上と特別支援教室へのケアの充実を図ります。また、2階はPC教室と図書室を隣接して配置し、メディアセンターを形成します。
- ・エレベーター棟は配膳室に近い位置に増築することで給食配膳時の安全を確保し、バリアフリー化を図ります。
- ・屋内運動場は便所、屋根、内装のリニューアルを行い、避難施設としての機能充実を図ります。



【3階プラン】



【2階プラン】



【1階プラン】

【交流センター】
(旧)給食施設棟

増築校舎

校舎東側の増築は、職員室を拡張するとともに、保健室・特別支援教室を配置し、ともに連携を取りやすい計画とします。また、2階のメディアセンターとPC教室は、一体利用も可能な自由度の高い情報教育の場とします。



■増築校舎外観イメージ

交流センター

【仮称】王寺義務教育学校（北）の給食センターの開業に伴い王寺南中学校の給食施設棟は、会議室・ランチルーム・地域交流室・学童保育教室に改修し、異学年交流や地域交流の場とします。

□ : 増築対象 □ : 主な改修対象室